

じお★ふあん

Vol.5 (2023年10月31日発行)



あおそやま
青麻山



青麻山の柔らかな稜線をよく見ると、ドーム状の高まりが連なっているのがわかります。青麻山は約40万年前から10万年ほどの比較的短期間で形成され、後期に噴出した粘り気の強いマグマが溶岩ドームを作りました。



じお★ふあんライド

松田室長の自転車日記

コース：

ぐるっと青麻山 ②



棚村から松川を渡り、最初に出くわすのが10%の激坂です。10%の登り坂とは「100m進むと10m上昇する」という意味。エコラインの平均斜度は7%なので、運動不足の私にはキツイ登り坂です。青麻山は中央の溶岩ドームを残し、雨風や沢による侵食が進んでいるため、アップダウンの激しい道が特徴です。

途中、下別当の寶龍権現清水で水分補給！柔らかな味わいの湧き水に、青麻山の恵みを実感します。白石市に入ると平坦な直線区間に入り、ほどなくすると山ノ神社が見えてきます。この神様は、秋の収穫後に山の神になり、春になると里に下りてきて田の神となるのだそうです。山に降った雪が春になると雪解け水になり、里を潤す…昔の人々は、そうした季節の移ろいに感謝の気持ちを込めていたのかもしれないね。 ▶ 次号へつづく

編集後記

肌寒くなってきました。もうすぐ雪の降る季節…！朝は起きられなくなるし、車の運転は怖いし、嫌だな～と思うことも多いですが、春先に見た雪景色の屏風岳がとて格好良かったので、それを見られるのは楽しみです。(北川)



お問い合わせ先

編集・発行 蔵王ジオパーク推進協議会

《事務局所在地》〒989-0892 宮城県刈田郡蔵王町大字円田字西浦北10番地

蔵王町環境政策課ジオパーク推進室内

《電話》0224-33-3007

《メール》geopark@town.zao.miyagi.jp

ホームページ
SNS

ホームページ



facebook



Instagram



認定へ向け一歩前進！日本ジオパークの認定は「保留」となりました

9月29日（金）に開催された日本ジオパーク委員会において、蔵王ジオパーク構想の認定の可否が検討され、結果は「保留」となりました。日本ジオパークの認定には、「認定」と「見送り」、そして「保留」の3種類があります。保留とは「現時点では認定にはできないものの、2年の間で指摘された課題に対処し報告、協議のうえで認定とする」というものです。

「保留ってなんだ？」と感じた方もいらっしゃると思いますが、日本ジオパークの認定へ向けては一歩前進。これからも、蔵王ジオパーク推進協議会の活動を応援（たまには参加も！）していただければと思います。

優れていると評価された点

- ・蔵王高校の実践学習をはじめ、ジオパーク要素を取り入れた学校教育が行われている
- ・地元事業者やガイドなどが地域の魅力を発信し続けている
- ・地域内で地元事業者と自治体が連携した地球環境を守る活動が行われている
- ・ジオパークを推進するための体制が強化された

など

改善が必要と評価された点

- 【解決が急がれる課題（おおむね1年以内）】
- ・地域のアイデンティティともいえるロゴマークがないため、早急に作成する必要がある
 - ・拠点施設の整備が不十分なため、施設の機能や位置づけを検討したうえで着手する必要がある
- 【できるだけ早く解決すべき課題（2年以内）】
- ・ジオパークで何をどのように実現していくのかを示した中長期計画を整備する必要がある
 - ・来訪者がガイド無しでも楽しめるような解説看板・パンフレットを整備する必要がある
 - ・蔵王ジオパーク構想の持続可能な発展に寄与するパートナーシップ協定の検討と推進が必要である
 - ・サイトの保全や整備の状況を盛り込んだカルテを作成する必要がある



委員会からの電話



結果の発表



認定へ一歩前進！



車窓から紅葉を眺める



蔵王不動尊



駒草平



ジオパークに関連した地域の活動をご紹介します！

10/7（土）蔵王ジオパークフォーラム2023

10/7（土）に「蔵王ジオパークフォーラム2023」を開催し、約250名のお客様にご来場いただきました！今回は「蔵王ジオパーク構想のこれまでとこれから」をテーマに、日本ジオパーク委員会中田委員長の基調講演や蔵王高校の発表、パネルディスカッションを行いました。



幹mikiさんによるステージ



中田委員長による基調講演



パネルディスカッション



蔵王の絶景満喫ツアー ～秋編～

10/8（日）、フォーラム記念ジオツアーとして「蔵王の絶景満喫ツアー ～秋編～」が開催されました！今回は、御釜や駒草平、蔵王不動尊を巡る午前中のみのショートコースでした。紅葉には少し早かったものの天候に恵まれ、参加者の方からも感激の声が上がっていました。